

2023 ルール改正点

P11～12

1-2 項 アピールプレイ APPEAL PLAYとは、審判員が監督、コーチ・プレイヤーに要求されるまで判定をすることができないプレイで、正しい投球、不正投球にかかわらず次の投球動作に入る前になさなければならない。

また、インニングの終了のときは守備者全員がフェア地域を離れるか、審判員が試合終了の宣告をする前にしなければならないプレイをいう。

なお、監督やコーチによるボールデッド中のアピールは、競技場内(ベンチを含まない)に入った後にしかできない。

【例外】無通告交代、再出場違反、DP違反、代替プレイヤー違反のアピール権は、当該プレイヤーが交代するまで継続され、消滅することはない。

アピールプレイは次の**9つの場合**である。

- (1)走者が塁を空過したとき。
- (2)飛球に対して走者の離塁が早過ぎたとき。
- (3)打順誤りがあったとき。
- (4)打者走者が一塁通過後に二塁へ向かおうとしたとき。
- (5)無通告交代したとき。
- (6)代替プレイヤー違反があったとき。
- (7)再出場違反があったとき。
- (8)DP違反があったとき。
- (9)**タイブレークの走者にルール違反があったとき。**

※改正理由

2022の国際ルールの改正に伴い、タイブレークの走者にルール違反（本来タイブレークの走者になるべき選手が走者として出場しなかった場合）があった場合は、「アピールプレイ」の対象となったことから、国際ルールに合わせ、改正を行った。

P21

1-51項 オプション OPTION（選択権）とは、守備側の不正行為により攻撃側の監督に与えられる権利で、次の場合は選択権となる。

1. 無通告交代したプレイヤーが守備でプレイしたとき。
2. 不正投手が投球した球を打者が打ったとき。
3. 打者が不正投球を打ったとき。
4. 捕手や**他の野手**が打撃妨害をしたとき。
5. 野手が不正用具でプレイしたとき。
6. 再出場違反したプレイヤーが守備でプレイしたとき。

※改正理由

打撃妨害は「捕手」だけでなく、「他の野手」によって引き起こされる場合もある。現行ルール「6-4 項 守備位置」3. に「三塁走者がスクイズプレイまたはホームスチールを試みたとき、捕手または他の野手が本塁を踏んだり、その前に立ったり、打者やバットに触れ、打撃を妨害してはならない」と明記されていることから、上記4. の「捕手」の後に「や他の野手」の文言を入れ、整合性を図った。

P24

1-69項 テンポラリーランナー TEMPORARY RUNNER とは、**投手**・捕手が塁上の走者となっていて二死となったとき、あるいは二死後、**投手**・捕手が出塁し、走者となったとき、**投手**・捕手の代わりに走者となる選手のことである。テンポラリーランナーと交代させるかどうかは、攻撃側チームの選択である。

テンポラリーランナーは、塁上の走者以外の選手で、打順が最後に回ってくる者とする。

※国際ルールでは、**タイブレークの走者と同様に「テンポラリーランナーにルール違反があった場合（テンポラリーランナーの使用を間違った場合）は、アピールプレイの対象となる」とルール改正されている。**

※改正理由

国際ルールでは、すでに「捕手」だけでなく、「投手」にもテンポラリーランナーの使用が認められている。また、国際ルールではタイブレークの走者のルール違反と同様に、テンポラリーランナーのルール違反もアピールプレイの対象となり、ペナルティが課されるが、JSAルールにおいては、捕手のテンポラリーランナーについても「ノーペナルティ」で実施してきた経緯もあり、また、本年度はルール改正の周知徹底を図る中央研修会もないことから、すぐにアピールプレイの対象とし、ペナルティを課するのではなく、このルールの運用に慣れ、定着するまでの「猶予期間」を設けて対応し、適用・運用に時間をかけるべきと判断した。

ただし、国際ルールではすでにアピールプレイの対象で、違反に際してはペナルティが課されるルール改正が行われていることを※印以下に「参考」として追記することで、ルールへの理解を促し、近い将来の全面実施に備える形を取りたいと考えている。

P42~P43

4. アンダーシャツ

(1) プレイヤーのアンダーシャツは同色でなければならない。すべてのプレイヤーがアンダーシャツを着用することは必須ではないが、一人でもアンダーシャツを着用する場合は、他のプレイヤーは同色のものを着用しなければならない。また、どのプレイヤーも、露出したアンダーシャツの袖が ほつれ、擦り切れたり、スリットが入ったものを着用してはならない。

(2) アームスリーブ(腕の保護ガード)を着用する場合は、アンダーシャツの着用と同様のルールを適用し、**片腕または両腕にアンダーシャツと同色のものを着用しなければならない。**

(注)片腕のみの使用は禁止する←(注)は削除

※改正理由

こちらも国際ルールがすでにそのような形で改正されていることから、国際ルールの改正内容に合わせ、アームスリーブの片腕のみの使用も認めることを明記し、ルール改正を行った。

P51

4-8項 プレイヤーのマナー

3. 攻撃側のチームメンバーは、試合中いかなるときも、故意に打者席のラインを消してはならない。

〈効果〉3

(1) ボールデッド。

(2) 打者に対してワンストライクが宣告される。

(注) 次の打者が打席に入る前や選手交代時に、監督・コーチや攻撃側のメンバーがラインを消した場合には、次の打順のプレイヤーに対してワンストライクが宣告される。

※国際ルールでは「守備側の監督・コーチや守備側のメンバーがラインを消した場合は、当該打者が、次の打者が打席に入る前や選手交代時の場合は、次の打順のプレイヤーに対してワンボールが宣告される」とルール改正されている。

※改正理由

国際ルールでは「攻撃側」だけでなく、「守備側」も「試合中いかなるときも、故意に打者席のラインを消してはならない」とルール改正されていることから、参考までに国際ルールでの取り扱いを例示した。

P54

4-11項 テンポラリーランナー

投手・捕手が塁上の走者となっていて二死となったとき、あるいは二死後、投手・捕手が出塁し、走者となったとき、投手・捕手の代わりにテンポラリーランナーを使用することができる。

(1) テンポラリーランナーと交代させるかどうかは、攻撃側チームの選択である。

(2) 二死後であれば、いかなる時点でもテンポラリーランナーを使用することができる。

(3) テンポラリーランナーを使用するときは、塁上の走者以外の選手で、打順が最後に回ってくる者をテンポラリーランナーとする。

(注) テンポラリーランナーに間違えた選手が出た場合には、正しい選手と交代させる。(それに対するペナルティはない)

※国際ルールでは、タイブレークの走者と同様に「テンポラリーランナーにルール違反があった場合(テンポラリーランナーの使用を間違えた場合)は、アピールプレイの対象となる」とルール改正されている。

※改正理由

1-69項と同様の理由でルール改正を行い、参考として国際ルールの取り扱いについて※以下に明記した。

P57~P58

5-6項 タイブレーク

8回の表から無死・走者二塁を設定して攻撃を継続する。二塁走者は前の回の最後に打撃を完了した者とし、打者は前回から引き続き正位打者(正しい打順の打者)とする。

〈効果〉

タイブレークの走者にルール違反があった場合(本来タイブレークの走者になるべき選手が走者として出場しなかった場合)は、

(1) アピールプレイ

(2) 違反した走者がアウト

守備側のアピールは、違反した走者が塁上にいる間に行わなければならない。守備側がアピールする前に、攻撃側が正しい選手に走者を交代させた場合は、ペナルティはない。

※改正理由

国際ルールはすでに上記内容にルール改正されており、タイブレークの走者にルール違反があった場合には、アピールプレイの対象となり、〈効果〉の通りのペナルティを課す。

P64

6-5項 異物の使用

1. 守備側のメンバーは、試合中は球にいかなる異物もつけることは許されない。ただし、審判員により事前に確認された ロジンのみ使用することができる。
 2. 投球する手の指にテープを巻いたり、手首や前腕部に汗とりバンド(リストバンド)、腕輪、またはこれに類するものを着用してはならない。
- (注)アームスリーブは、3-7項4に規定されたアンダーシャツとみなし、**片腕または両腕**に着用し、アンダーシャツと同色であることを条件として着用することができる。

※改正理由

これも3-7項4の修正に伴うものであり、国際ルールの改正内容に合わせたルール改正である。

P74

7-3項 打撃姿勢

3. 打者は、試合中いかなるときも、故意に打者席のラインを消してはならない。

〈効果〉3

(1)ボールデッド。:

(2)打者に対してワンストライクが宣告される。

(注)次の打者が打席に入る前や選手交代時に、監督・コーチや攻撃側のメンバーがラインを消した場合には、次の打順のプレイヤーに対してワンストライクが宣告される。

※国際ルールでは「守備側の監督・コーチや守備側のメンバーがラインを消した場合は、当該打者が、次の打者が打席に入る前や選手交代時の場合は、次の打順のプレイヤーに対してワンボールが宣告される」とルール改正されている。

※改正理由

国際ルールでは「攻撃側」だけでなく、「守備側」も「試合中いかなるときも、故意に打者席のラインを消してはならない」とルール改正されていることから、参考までに国際ルールでの取り扱いを例示した。

P89

8-3項6 進塁と逆走塁

6. 塁を空過したり、**飛球の捕球よりも**タッチアップが早過ぎたりして、アウトになった前位の走者は、正しい順序で塁に触れている後位の走者の資格に影響を与えない。

※改正理由

タッチアップとは、1-67項 タッキングアップ TAGGING UP (タッチアップ) に定義されている通り、飛球に野手が触れた直後、走者が進塁するためにスタートを起こすことであり、必ずしも「捕球」する必要はない(野手が捕球できなかった、落球したといったケースでも、野手が球に触れた直後にはスタートできるため、このルール条文の表現は適切ではない。そのため、「飛球を捕球しなければタッチアップできない」と、誤解を招きかねない「飛球の捕球よりも」の文言を削除し、単純に「タッチアップが早過ぎたりして」の表現のみとする文章整理を行った。

P98

8-6項7 走者がアウトになる場合

7. **ボールインプレイ中、ボールデッド中にかかわらず**、他の走者以外の者が走者の身体に触れ、走塁を援助したとき。

※改正理由

このルールの〈効果〉7~8文中に、「ボールインプレイ中、ボールデッド中にかかわらず」と同一の文言・表現があるため、ルール条文中の「ボールインプレイ中、ボールデッド中にかかわらず」を削除する。ルールの内容自体、解釈等の変更はない。

P110

10-1項 権限と義務

13. 審判員は、ルールに従って打者または走者をアウトにする場合は、アピールを待たないで決定できる。

(注) 審判員は、走者の空過、飛球に対して走者の離塁が早過ぎたとき、打順誤りがあったとき、打者走者が一塁通過後に二塁に向かおうとしたとき、無通告交代(不正交代したとき)、代替プレイヤー違反があったとき、再出場違反したとき、D P違反があったとき、**タイブレークの走者にルール違反があったときは**、アピールがあつてから適切な処置をする。

※修正理由

1-2項の「アピールプレイ」が、ルール改正により、「9つ」に増え、(9)に「タイブレークの走者にルール違反があったとき」が新設されたため、そのルール改正に合わせ、修正を行った。

※修正理由
 該当する9 - 2項21には、「送球」に関する記述しかないため、ルール本則との整合性を図るため、「投球や」の部分を削除する。

2023「競技者必携」審判の部 修正点

P40

(5) テンポラリーランナー

投手・捕手が塁上の走者となっていて二死となったとき、あるいは二死後、投手・捕手が出塁し、走者となったとき、投手・捕手の代わりにテンポラリーランナーを使用することができる。

(注1) テンポラリーランナーが出血した場合、代替プレイヤーを使用す

「捕手」だけでなく「投手」もテンポラリーランナーの対象になった

P41

- ることはできない。
- (注2) テンポラリーランナーを使用した場合、テンポラリーランナーが負傷しても再び投手・捕手を走者に戻すことはできない。
- (注3) (注1) (注2) のような場合、テンポラリーランナーを交代させるには、正しい控え選手と交代させなければならない。

P41 6. 試合と打ち合わせについて

2023 新設
 試合のスピードアップのため

- (1) 試合は、スピーディーに行われるよう努力する。
- ア. プレイヤーの攻守交代は駆け足で行うよう指導する。
- イ. 試合中、内野手間の送球が長くならないように注意する。
 日没まで、短時間しかないときは、やめさせてもよい。
- ウ. タイムは1分間以内とする。また、不必要と判断したタイムは認めなくてよい。
- エ. 選手間の打ち合わせは1イニング1回とするよう指導する。

(2) タイブレイクに際し、攻撃を始めるときの第1打者・二塁走者については、審判員が指導してもよい。

なお、代打者・代走者との交代は認められる。

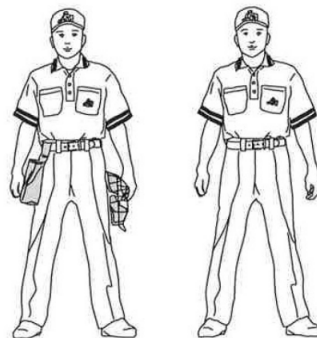
(3) 審判員は試合が終了したとき、“集合”のコールをしない。

タイブレイクの走者にルール違反があった場合(本来タイブレイクの走者となるべき選手が走者として出場しなかった場合は、本年度のルール改正で「アピールプレイの対象」となったが、ペナルティを与えることが目的ではなく、無用な混乱を避けるため、ルール改正初年度は、あえてこの一文を残し、「指導してもよい」こととした。

P49

(1) 審判員の服装

- 塁審の審判帽は、ひさしの長いものを着用する。
- 目を保護するために審判員は、サングラスを使用してもよい。
- 感染症等の予防のために審判員は、フェイスマスク等を使用してもよい。



球審

塁審

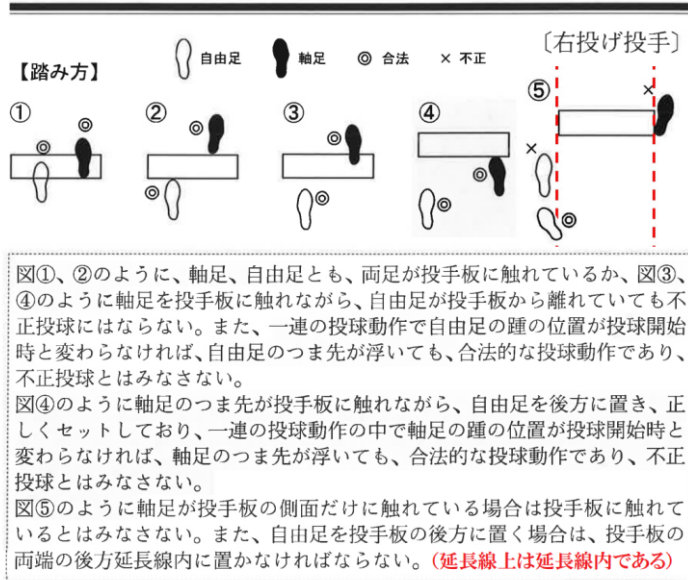
審判員の服装は
 礼服である

7. 監督の選択権について

- (6) 捕手や他の野手が打撃妨害をしたとき。
(8-1項 4〈効果〉4、P81~82)

ルールの条文を修正(実際の適用に合わせた)したことに伴い、同様の文言に修正した

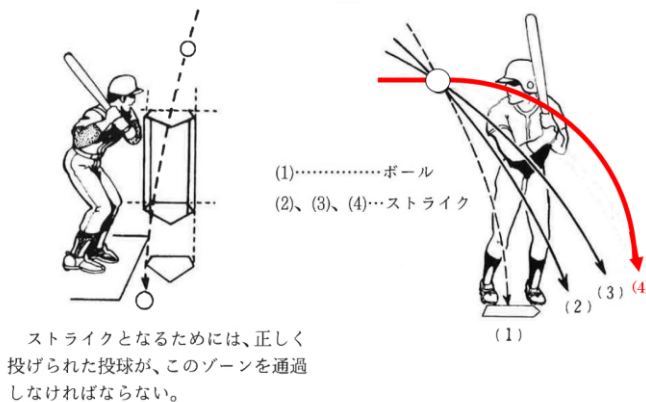
P122 10. 投手板の踏み方・踏み出し方



P126 2. スローピッチ・ストライクゾーン

打者が、打者席内のどこに位置するかは、ストライクゾーンには関係ない。

ストライクゾーンは、あくまでも本塁の上方空間であり、これと打者が自然な打撃姿勢に入るときの打者の捕手側の肩、膝の位置がストライクゾーンを決める要素である。



P137 3. 公式記録員手引き

(6)公式記録員は記録業務時、次の服装と用具を調えること

① 服装について

(ア)動きやすい服装(ズボンはジーンズを除く)とする。シャツは白で襟付きが望ましい。

また、スコアカード記帳時は帽子(サンバイザー)を着用する。

(イ)その他の季節は紺または緑の上衣、白シャツ、グレーのズボン(女性は黒でもよい)、帽子(サンバイザー)を着用する。

(イ)帽子・ネクタイは記録委員会が定めたものとする。

タイブレーク走者、及びテンポラリーランナーについて（確認事項）

【1】タイブレークの二塁走者について

- Q1 アピールプレイの対象になる時はいつか？
- A1-1 投球動作に入った時**
もし、先頭打者が初球を本塁打した場合、アピール権がなくなってしまうが、それでも良いか？
- A1-2 間違ったランナーはもはや塁にいないため、アピールはできない。**
投球が行われるか、得点が入るまでは、走者は正式にはゲームに参加しません。
本塁打の場合、二塁に置かれた走者が誰であるかは、本塁打に関与していないので、実際には問題ではありません。
- Q2 アピールの対象となる走者は誰か（誰がアウトになるのか）？
- A2 正規の走者がアウトになる。**
- Q3 アピールアウトになった走者はどうなる？
- A3 アピールアウトだが失格選手とはならない。**
- Q4 アピール権が消滅するのはいつか？
- A4 二塁走者が本塁を踏んだ時**
- Q5 アピールアウト後の再開はどうなるのか？
- A5 一死、走者無しで再開する。**
- Q6 違反に気づかず、打者が安打等で出塁した後（例えば一・三塁）アピールされた場合、どうなるのか？
- A6 正規の走者をアピールアウト。一死、走者一塁でプレイを再開する。**
- Q7 違反に気づかず、二塁走者が盗塁を企てて三塁でタッチアウトになった場合、走者がいなくなるのでアピール権は消滅するのか？
- A7 アピール権は消滅し、一死走者無しでプレイを再開**
- Q8 違反に気づかないまま、打者がホームランを打ったとき。
- A8 走者がいなくなるのでアピール権は消滅する。**
- Q9 タイブレーク走者の違反は、打順誤りと同様、打撃完了時の打者に対して次の投球動作に入る前にアピールされた場合、打撃結果（安打や四死球）による出塁したために進塁を余儀なくされた走者の得点はすべて取り消されるのか？
- A9-1 取り消されない。**
※アピールはアウトになった誤ったランナーのみに対して有効。
プレイの結果はそのまま、違反発見前のアウトは取り消さないのか？
- A9-2 取り消されない。**

【2】テンポラリーランナーについて 《注》2023ルールでペナルティは適用しない。

- Q10 8番打者の投手がアウトで2死。9番の捕手が出塁した場合のテンポラリーランナーは？
- A10-1 8番の投手をテンポラリーランナーとしても良いし、7番打者をテンポラリーランナーとしても良い。**
また、8番打者の捕手がアウトで2死。9番の投手が出塁した場合のテンポラリーランナーは？
- A10-2 7番打者がテンポラリーランナー**
- Q11 2死。8番打者の投手、9番打者の捕手それぞれが塁上にいる状況（例えば走者1・2塁）で、2人同時にテンポラリーランナーを通告した場合はどうなるか？
- A11 8手に代わり、7番打者がテンポラリーランナー。**
9番捕手に代わり、6番打者がテンポラリーランナー又は、8番投手に代わり、6番打者がテンポラリーランナー。
9番捕手に代わり、7番打者がテンポラリーランナー。以上、どちらでも良い。
※同時通告の場合は、チームがどちらのランナーを先にTRにするか決めることができる。
- Q12 上と同じ状況（走者1・2塁）で、先に一塁走者（9番・捕手）にテンポラリーランナーを通告し、1球を投げた後、二塁走者（8番・投手）にテンポラリーランナーを通告して来た場合はどうなるか？
- A12 8番投手に代わり、6番打者がテンポラリーランナー。9番捕手に代わり、7番打者がテンポラリーランナーとなる。**
※攻撃チームがそのように決定したのであればそれでよい。
ただし、一旦、決定されたTRをその後に入れ替えることはできない。
- Q13 1番打者Aはアウトで1死。2番打者B（投手）が出塁後、3番打者Cがアウトとなったので一塁走者（2番打者）にテンポラリーランナーCが入った。続く4番打者D（捕手）は四球で出塁したため1・2塁となり、一塁走者（4番打者）にテンポラリーランナーAが入った。通告した順でテンポラリーランナーとなったが、二塁走者Cと一塁走者Aを入れ替える必要があるか？
- A13 入れ替える必要はない。**
一旦、TRとなった走者は固定され、入れ替えることはできない。
- Q14 F P（投手または捕手）が打撃を兼務した状態で出塁した後、または走者として兼務した後、二死となればテンポラリーランナーを採用できるか？
- A14 採用できる。**